

正誤表

2022年 2月 1日付

第1回「次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発」中間評価検討会で使用した資料について、次の通り誤りがありましたので、お知らせいたします。

正誤箇所		誤	正
資料7	3頁	執行額(百万円) 総執行額 44,341 総予算額 50,672	執行額(百万円) 総執行額 44,856 総予算額 51,341
	9頁	本事業は、事業開始から8年間(2020年度まで)で、総額約 443 億円の費用で実施された。	本事業は、事業開始から8年間(2020年度まで)で、総額約 449 億円の費用で実施された。
	12頁	執行額(百万円) 2016年度 812 2017年度 805 総執行額 4,626 総予算額 4,626	執行額(百万円) 2016年度 824 2017年度 829 総執行額 4,662 総予算額 4,662
	22頁	表－5 糖鎖事業の資金配分	

【誤】

表－5 糖鎖事業の資金配分

(単位:百万円)

研究開発項目	2016FY	2017FY	2018FY	2019FY	2020FY	合計
極微量の糖鎖変化を検出・検証するための技術開発、糖鎖標的を精密に構造解析するための技術開発	348(委託)	361(委託)	477(委託)	407(委託)	359(委託)	1,952
糖鎖標的を製造するための技術開発、糖鎖標的に対する捕捉分子作成のための技術開発、発見された糖鎖標的の創薬意義の解明	245(委託)	254(委託)	276(委託)	283(委託)	298(委託)	1,356
先端的な要素技術の開発と本事業への活用	192(委託)	171(委託)	181(委託)	181(委託)	189(委託)	914
先端的な要素技術の開発と本事業への活用(若手育成枠)	40(委託)	43(委託)	46(委託)	46(委託)	48(委託)	223
糖鎖標的等の創薬研究	—	—	71(委託)	71(委託)	87(委託)	229
計	825	829	1,051	988	981	4,661

【正】

表－5 糖鎖事業の資金配分

(単位:百万円)

研究開発項目	2016FY	2017FY	2018FY	2019FY	2020FY	合計
極微量の糖鎖変化を検出・検証するための技術開発、糖鎖標的を精密に構造解析するための技術開発	348(委託)	361(委託)	477(委託)	407(委託)	359(委託)	1,952
糖鎖標的を製造するための技術開発、糖鎖標的に対する捕捉分子作成のための技術開発、発見された糖鎖標的の創薬意義の解明	245(委託)	254(委託)	276(委託)	283(委託)	298(委託)	1,356
先端的な要素技術の開発と本事業への活用	191 (委託)	171(委託)	178 (委託)	178 (委託)	187 (委託)	906
先端的な要素技術の開発と本事業への活用(若手育成枠)	40(委託)	43(委託)	44 (委託)	44 (委託)	48(委託)	218
糖鎖標的等の創薬研究	—	—	71(委託)	71(委託)	87(委託)	230
計	824	829	1,046	984	979	4,662

※合計については四捨五入の関係で一致しない場合がある

資料7	36頁	図－10 糖鎖事業におけるロードマップ	図－10 中分子事業におけるロードマップ
	37頁	執行額(百万円) 2018年度 1,810 総執行額 5,690 総予算額 5,690	執行額(百万円) 2018年度 1,813 総執行額 5,693 総予算額 5,693
資料8	2頁	執行額(百万円) 総執行額 44,341 総予算額 50,672	執行額(百万円) 総執行額 44,856 総予算額 51,341
	11頁	次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業	次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(R2 予算 PR 資料)
	12頁	PD 竹中 登一	PD 岩崎 甫
	14頁	C バイオ医薬品の高度製造事業 「開発成果による製品の導入実績」を指標とする。	C バイオ医薬品の高度製造事業 「バイオ医薬品の高度製造技術開発の社会実装件数」を指標とする。
	17頁	本事業は、事業開始から 8 年間(令和2年度まで)で、総額約 443 億円の費用で実施。	本事業は、事業開始から 8 年間(令和2年度まで)で、総額約 449 億円の費用で実施。
	21頁	執行額(百万円) 2016年度 812 2017年度 805 総執行額 4,626 総予算額 4,626	執行額(百万円) 2016年度 824 2017年度 829 総執行額 4,662 総予算額 4,662
	30頁	4－2. 資金配分(研究開発マネジメント)	

【誤】

表－5 糖鎖事業の資金配分

(単位:百万円)

研究開発項目	2016FY	2017FY	2018FY	2019FY	2020FY	合計
極微量の糖鎖変化を検出・検証するための技術開発、糖鎖標的を精密に構造解析するための技術開発	348(委託)	361(委託)	477(委託)	407(委託)	359(委託)	1,952
糖鎖標的を製造するための技術開発、糖鎖標的に対する捕捉分子作成のための技術開発、発見された糖鎖標的の創薬意義の解明	245(委託)	254(委託)	276(委託)	283(委託)	298(委託)	1,356
先端的な要素技術の開発と本事業への活用	192 (委託)	171(委託)	181 (委託)	181 (委託)	189 (委託)	914
先端的な要素技術の開発と本事業への活用(若手育成枠)	40(委託)	43(委託)	46 (委託)	46 (委託)	48(委託)	223
糖鎖標的等の創薬研究	—	—	71(委託)	71(委託)	87(委託)	229
計	825	829	1,051	988	981	4,661

【正】

表－5 糖鎖事業の資金配分

(単位:百万円)

研究開発項目	2016FY	2017FY	2018FY	2019FY	2020FY	合計
極微量の糖鎖変化を検出・検証するための技術開発、糖鎖標的を精密に構造解析するための技術開発	348(委託)	361(委託)	477(委託)	407(委託)	359(委託)	1,952
糖鎖標的を製造するための技術開発、糖鎖標的に対する捕捉分子作成のための技術開発、発見された糖鎖標的の創薬意義の解明	245(委託)	254(委託)	276(委託)	283(委託)	298(委託)	1,356
先端的な要素技術の開発と本事業への活用	191 (委託)	171(委託)	178 (委託)	178 (委託)	187 (委託)	906
先端的な要素技術の開発と本事業への活用(若手育成枠)	40(委託)	43(委託)	44 (委託)	44 (委託)	48(委託)	218
糖鎖標的等の創薬研究	—	—	71(委託)	71(委託)	87(委託)	230
計	824	829	1,046	984	979	4,662

※合計については四捨五入の関係で一致しない場合がある

資料8

59頁

執行額(百万円)

2018年度 **1,810**総執行額 **5,690**総予算額 **5,690**

執行額(百万円)

2018年度 **1,813**総執行額 **5,693**総予算額 **5,693**

以上